



万松寺

はくび通信

Year

2017 年

Season

秋号



秋のお彼岸

■お彼岸とは？



お彼岸とは、自然の恵みやご先祖様に感謝をささげる仏道精進の期間で日本独自の仏教行事です。お彼岸は年2回あり、春分・秋分の日と前後3日を合わせた7日間をいいます。農耕文化の日本では、古来より昼夜の時間が同じで、真東から太陽が昇るこの時節に自然の恵みに対する感謝をささげる風習があり、これらと仏教の教えが結びついたり考えられています。今年の秋分の日は9月23日ですので、9月20日～26日が秋のお彼岸となります。

彼岸の語源は、サンスクリット語「パーラミター（波羅蜜多）」の漢訳語「到彼岸」からきています。「彼岸」の言葉の意味は、「向こう側の岸」という意味を持ちます。それは三途の川を挟んだ向こう側、つまり「煩惱・迷い・苦しみのない清らかな悟りの世界」のことです。これに対し「こちら側の岸」を「此岸（しがん）」と言い、「欲望・迷い・煩惱にまみれた世界」を意味します。お彼岸は、「此岸」から悟りの世界「彼岸」へ到達するために、修行を行うための期間でもあります。

■お彼岸のご供養



▲昨年の秋彼岸法会の様子

■お彼岸の豆知識
暑さ寒さも彼岸まで
季節の変わり目によく耳にします。昔、人はお彼岸の時期を「彼岸ふりわけ」と呼んでいたそうです。春の彼岸の頃になると、冬の寒さが緩み春の気配を感じ、秋の彼岸の頃になると、夏の暑さもやわらぎ涼しい秋の気配を感じることからこの言葉が生まれました。

■おはぎとぼた餅
お彼岸には、農耕の象徴である穀物を使って作るあんこ餅を供える風習があります。
春は「ぼたんの花に見立てて、ぼた餅」、秋は「はぎの花に見立てて、おはぎ」とそれぞれ呼ばれています。

■彼岸に咲く花

秋のお彼岸の時期に咲き乱れる「彼岸花」ですが、別名「曼珠沙華（まんじゅしゃげ）」と呼ばれており、サンスクリット語で「天界に咲く花」という意味を持ちます。



▲秋彼岸はおはぎをお供えします

僧侶が教える

■お盆とは？

仏教の豆知識

お釈迦様の弟子である目連尊者が、修行で得た神通力により母親が餓鬼道に落ちていることを知り、お釈迦様の教えに従って、多くの高僧たちを供養し母を救ったことから供養の大切さが世に広がり、始まったのがお盆です。

お盆の行事では、「迎え火」でご先祖様の霊を家にお迎えし、たくさんのお供物を持って供養を捧げ、仏様やご先祖様の恩に感謝した後、「送り火」によって仏様の浄土にお送りします。

お盆を迎えるにあたり、精霊棚（しよりりようだな）と言われる棚に位牌を安置し、お供えをして準備を整えます。その中に、胡瓜（きゅうり）の馬や茄子（なす）で作った牛が供えてあるのをよく見かけますが、これはご先祖様の霊が馬に乗って早く帰ってきてほしい、供物を牛に載せてゆっくり浄土へ戻ってほしいとされる言い伝えによるもので「精霊馬（しよりりようま）」といわれています。



▲精霊棚の一例



▲迎え火、送り火

お盆の期間は、旧盆（8月盆）や新盆（7月盆）などがあり、地方によって異なります。旧盆は「月おくれ盆」といい、農作業が最も忙しい時期である7月を避けて、ゆっくり先祖供養ができるようにと8月に行うようになりました。

旧盆、新盆ともに13日の夕方から夜に菩提寺とお墓をお参りして、ご先祖様の霊を家にお迎えします。これを「精霊送り」と言い、この時に霊が迷わず帰ってこられる様に家の門前で麻幹（おがら）を焚くのが「迎え火」です。地方によってはお墓からの道筋に、たくさん松明を灯したりもします。そして15日の夜から16日の早朝には、お盆の間一緒に過ごしたご先祖様の霊をお送りします。これを「精霊送り」と言い、この時にご先祖様が無事に浄土へお戻りできる様、「送り火」を焚きます。有名な京都の「大文字焼き」も送り火の一つです。

万松寺歴史秘話

織田信秀公「万松寺」を建立す

万松寺は、「尾張の虎」として名声高い戦国時代の有力大名織田信秀公（織田信長の父）によって天文九年（1540年）に建立されました。

信秀公は、尾張の南半分を支配する織田大和守家に仕える織田弾正忠家の嫡男として生まれ、幼いころより才智勇に優れていました。若干17歳で家督を相続した後、織田一族の壮絶な内紛などを制して尾張一円を領しました。その後、当時交易の拠点であった津島や熱田などを庇護し、商業を発展させることによって財を蓄えました。また、東は駿河（静岡県）の今川氏親、西は美濃（岐阜県）の斎藤道三との合戦を重ねながら領土を拡大させるなど、後に織田信長が天下統一を推し進める礎を築き上げました。



▲織田信秀公木像・万松寺蔵



▲信秀公墓碑
現在は非公開ですが、年内公開を目指し再建中です

ある日、信秀公は「名僧と誉れの高い大雲永瑞大和尚（信秀の叔父）とともに那古野城（現名古屋城）南側の土地に織田家の菩提寺を建立し、仏法を守護することによって願いを叶えられる」という夢を見ました。

以前から仏教（禅宗）を深く信仰していた信秀公は、夢で見た場所と全く同じところ（現在の名古屋市中区錦と丸の内二、三丁目）に5万5千坪もの寺領を設け、2年余りの歳月をかけて「大殿」を中心に「七堂伽藍」の備わった壮大な一大寺院を建立しました。開祖には大雲永瑞大和尚を迎えて織田家の菩提寺とし、亀が沢山住んでいたなどの土地の特徴から「亀岳林万松寺」と名づけました。

正式な寺号は「亀嶽林 萬松寺」。十一面観世音菩薩を御本尊とし、後に織田信長や徳川家康、加藤清正などによる数多の歴史ドラマの舞台となり、477年の時を経て現在に至ります。

日本のお盆は地域によって様々な方法やしきたりがありますが、ご先祖様に感謝し供養する気持ちを持つことがもつとも大切なことです。

万松寺では、このような仏教行事のしきたりや仏教の教えを僧侶から直接学べる勉強会を開催しております。お気軽にご参加ください。

万松寺の 仏教勉強会 2017

9月	10月
8日(金) 6時半 暁天坐禅会（朝粥付） 9日(土) 16時 写仏会 13日(水) 18時半 坐禅会	11日(水) 18時半 写経会 20日(金) 6時半 暁天坐禅会（朝粥付） 21日(土) 16時 宗派によってこんなに違う修行について

お申し込み・お問合せ 052-262-0735（仏教勉強会事務局）

大須商店街 紹介コーナー

大須商店街は、万松寺や大須観音などの門前町として誕生し、現在では若者のポップカルチャーと融合し、発展した商店街として全国的に注目されています。

今回は、大須商店街連盟の今井富雄会長に大須商店街の魅力などについてお伺いしました。

■大須商店街の魅力は？

■門前町から発展した日本の古き良き商店街でありながら、常に新しい文化を取り入れる事によって、様々な文化が交じり合い、老若男女や国籍に関係なく楽しめることが一番の魅力です。

■一時は大変な時期もあったとお聞きますが？

■大須商店街は昭和初期まで名古屋随一の歓楽街として栄えていましたが、第二次世界大戦時、米軍の空襲によって壊滅的な打撃を受けました。また戦後は地下鉄開通に伴い、店舗や客足が栄に流れた為、一時は大いに寂れてしまいました。

■大須商店街復活のきっかけは？

■1970年代「アメ横ビル」の出店を機に大須商店街は中部地区随一の電気街として復活することができました。その後も時代の流れに敏感な若い人達の

万松寺ニュース

「白龍モニュメント」大須商店街のランドマークに

大村秀章愛知県知事、河村たかし名古屋市長をはじめとする多くの参席者に見守られて行われた、万松寺白龍館竣工式から2ヶ月あまりが過ぎた今、白龍館の「白龍モニュメント」が、大須商店街の新たなランドマークとして賑わっています。

特に「再生」をテーマにした壮大な音楽と映像に連動し、3体の白龍が七色に光り輝いてミストを吐き出す光と水の演出は非常に神秘的で、誰もが足を止めて見入ってしまいます。そんな白龍を多くの人々がカメラに収めようとしますが、全長約8mもある白龍の全体像をカメラに収めるのはなかなか大変で、一番の撮影スポットを探して移動する姿がよく見られます。

演出の最後には白龍が手にする宝珠に吉凶の運勢が浮かび上がります。最後まで楽しませてくれる「白龍モニュメント」は、まさに大須商店街のランドマークにふさわしい存在です。



白龍モニュメント演出の上演時間
11時、13時、15時、17時、19時

■手によって、ファッション店や韓流ショップ、メイドカフェなど、次々と新しい形態の店舗が出店され、歴史とポップカルチャーが融合した現在の大須商店街となりました。

■今後の大須商店街はどうなりますか？

■古き良き日本を残しつつ、新しい文化を常に受け入れて、国内外のお客様が今まで以上に満足いただける商店街にして行きたいと考えています。

また門前町という強みも忘れてはなりません。万松寺をはじめとする寺社の皆様と力を合わせて様々なイベントを開催し、商店街を更に活気付けて行きたいと考えています。

■これからも万松寺と大須商店街で手を取り合い大須商店街を盛り上げていきたいですね。

今井会長、ありがとうございます。

大須商店街のイベント日程

8月26・27日 ほぼど真ん中祭り
10月14・15日 大須大道町人祭
10月21・22日 名古屋まつり



■多くの人で賑わう大須商店街

仏壇・寺院仏具・墓石の専門会社だからこそ「伝統工法」と「先進技術」でお客様のお悩みに答えます。

優れた対応力で 離檀トラブルも安心！

お墓の様々なお悩みやご相談に応じます。お墓が劣化や風化で傷んでしまっている。新規建立を検討している。古くなったお墓をどうにかしたい。墓じまいをしたいが手続きがわからない。

施工実績 2000 件以上

大切なお仏壇や仏具をきれいな姿へ。法要までにお仏壇をきれいにしたい。漆や金箔の剥がれを直したい。お仏壇の処分を依頼したい。お仏壇を傷つけることなく移動させたい。

仏壇のことで お困りのことの方

菩提樹 BODAIJYU

仏壇・仏具・寺院仏具の洗浄・修復 / 墓石に関する業務全般

【本社】愛知県小牧市小牧原1丁目329番地 TEL:0568-27-8750 FAX:0568-27-8751

お問い合わせ・お見積り 受付時間9:00～18:00

0120-480-048

菩提樹 仏壇 検索 http://bodaiju-web.jp

東海ラジオ ガッツナイターでCM放送中

資産運用セミナー
～投資信託の賢い選び方～

講師:吉田 篤 日本証券アナリスト協会検定会員補
ファイナンシャルプランナー
【講演実績】 NHK文化センター、 高年大学城域学園、 名古屋証券取引所など

日時 8月20日(日) 10:00～12:00
会場 名古屋金山ホテル2F (旧ワシントンホテルプラザ)
定員 40名

※先着順により、定員に達し次第締め切らせていただきます。

お申込み・お問合せ 052-212-7230

ファイナンシャルプランナー事務所 シグマ株式会社 名古屋市中区千代田5-15-10パークビル3F 金融商品仲介業者 東海財務局長(金仲)第152号

無料 要予約

創業 35 年の信頼と実績

自分らしい葬儀 納得の葬儀

白川会館 花音

相談ダイヤル 0120-133216

大曽根駅より徒歩 3 分以内

〒462-0810 名古屋市北区山田一丁目 6 番 48 号

四七〇年の歴史と伝統

織田家・尾張徳川家ゆかりの寺院が管理する

万松寺納骨堂

由緒ある
寺院による
安心の永代供養

天候に関わらず
お参りができる
快適な屋内施設

地下鉄「上前津」駅
徒歩3分の
便利な立地



織田信秀公木像
万松寺蔵

多様化するお墓のニーズにお応えする「選べる納骨堂」



天聚閣
～てんじゅかく～

鳳凰が舞い、光溢れる天空のような空間



瑞雲閣
～ずいんかく～

従来の仏壇をそのままに、趣のある納骨壇



水晶殿
～すいしょうでん～

水晶の輝きに包まれた、幻想的な納骨堂



白龍館 彩蓮
～さいれん～

「お墓参り」にこだわった蓮池に浮かぶ室内墓



阿弥陀堂
～あみだどう～

お位牌にお骨を納める「位牌納骨」

万松寺納骨堂

〒460-0011 名古屋市中区大須3丁目29-12

フリーダイヤル

イコーナ

クヨーニ

0120-157-942

ご見学・ご相談随時承ります

万松寺

検索

◆万松寺 これからの行事

- | | | |
|-----|--------------|----------|
| ◆8月 | 12日(土) | 迎え火 |
| | 15日(火) | 送り火 |
| | 24日(木) | 施食会 |
| | 28日(月) | 旧暦七夕祈祷会 |
| ◆9月 | 24日(日)25日(月) | 納骨堂秋期彼岸会 |
| | 28日(木) | 秋期不動明王大祭 |
| | ◆12月 | 3日(日) |
| | 16日(土) | 秋葉大祭 |



祈祷、供養 随時受付

身代不動明王縁日

身代わり餅つき開催

毎月 **28**日
18時～